

公立八女総合病院 大変厳しい経営状況!!

2025年1月、広川・八女東部・西部の3会場で地域懇談会が開催された。

地域医療と公立病院の役割について説明。久留米大学や医師会、構成自治体と連携を図ってきた取組みを報告。医師派遣の遅延により赤字が続く見込みである。一方、民間病院の経営難が加速していることから、公立病院の意義と整備の必要性が強調された。

経営状況が厳しい要因は？

- ・ 経常損益ベースで赤字が続いており、2023年度は直近5年間で最大のマイナス11億2千万円。
- ・ 久留米大学からの公立2病院（筑後市立病院・公立八女総合病院）への医師派遣は困難。特に、2病院で重複する診療科への分散派遣は難しい。
- ・ 消化器内科医の不在が収益改善を妨げている。
- ・ 物価高騰、賃金の上昇により経費増加。
- ・ 診療報酬は固定価格である、価格転嫁できない。



全員協議会で説明を受けました

経営強化プランは？

- ・ 救急体制強化や地域連携、診療報酬の適切な取得などの取組み。
- ・ 最新医療機器を導入。
- ・ 近隣の医療機関から紹介しやすい病院になるため、あらたな紹介システム構築。

地域医療懇談会のご案内

8月19日 (火)

町民交流センター「いこっと」大研修室

八女地区消防組合 八女消防本部新築!!

2025年2月19日、八女地区消防組合議会が開催された。7年度一般会計予算と主要事業の説明があり、いずれも、承認された。

◎令和7年度一般会計予算

26億3570万5千円

◎主要事業

○新庁舎建設事業

- ・ 基本設計・実施設計委託料 1億7363万3千円
- ・ 埋蔵文化財発掘調査委託料 850万円

○八女東消防署女性専用施設改修事業 1667万2千円

- （仮眠室・浴室の個室化、トイレの改修等 女性消防吏員活躍推進のための改修）

○筑後地域消防指令センター指令システム等更新事業 7億8877万7千円

- （久留米市にある指令センターは筑後地域の7消防本部で共同運用されている。）

○消防本部指揮車の更新

2142万3千円



新消防本部イメージ図

※一部事務組合とは

複数の地方公共団体が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する行政機関です。

- ・ 八女西部広域事務組合（広川 筑後 八女 大川 大木）
- ・ 八女中部衛生施設事務組合（広川 八女）
- ・ 公立八女総合病院企業団（広川 八女）
- ・ 八女地区消防組合（広川 八女）